

【特集】天応学園
義務教育学校の取組



地域と
ともに学ぶ



インターンシップの学生の提案を採用し、QRコードを掲載しました。



地域とともに学ぶ

▲児童生徒会執行部の生徒さんと広報委員

呉市初の義務教育学校として開校から1年半が経ち、どのような取組をされているのか、今回は広報委員会の定森委員長と亀井委員がお話を伺いました。

Q 義務教育学校とは？

A 平成28年に創設された新しい学校制度で、一人の校長の下、小学校段階から中学校段階までの教育課程を9年間を通して一体的に学ばせることができる学校です。

Q 天応学園の特色は？

A 天応学園は、天応地区の復興のシンボルとして、防災教育を基盤とした災害に強いまちづくりを考える学び等、地域と共にある学校づくりを進めています。

Q 小中一貫校との違いは？

A 従来の小中一貫校との違いは、一つの大きな教育組織として、スケールメリットを活かした学校経営がで

きるところだと思います。

全ての教職員が全ての児童生徒に関わることを基本とし、前期課程（小学校）の一部教科担任制の拡充や、後期課程（中学校）の部活動に全ての教職員を充てるなど、児童生徒に対し、多様な教職員との関わりが増えるような体制づくり等を工夫しています。

小学校、中学校それぞれの教職員を、それぞれの校長が管理するこれまでの小中一貫校では、このような柔軟な体制をとることは難しいことです。



▲危険箇所を調べるために旧天応中学校付近を調査

4月の開校記念式典では、上級生が下の学年の子を気かけ、声をかけられるように学年順ではなく、年少の児童と年長の児童生徒とが隣り合うように整列されました。

また、天応学園には二人の教頭がいますが、前期課程（小学校）と後期課程（中学校）とで分担するのではなく、それぞれの得意分野を活かして担当を振り分け、効率的な学校運営を行っています。



▲開校記念式典

Q 他学年・地域との関わり

A 天応学園は学校教育目標として「かわる つながる よく生きる」を掲げています。

かわりの例として、休憩時間に前期課程低学年の児童が、後期課程の生徒に九九の成果を披露し、成果に応じてシールを貼ってもらうという取組をしています。

後期課程の生徒に褒められることで、自己肯定感の向上につながり、学習内容の定着にも役立っています。

実社会、実生活の課題解決に取り組む総合的な学習の時間では、取り扱うテーマによって、様々な人材と関わる機会をつくっています。

取材時は、呉工業高等専門学校教授や学生の皆さんと協働学習の取組の一環として、災害時の危険箇所等について、地域のボランティア団体の方とともに、現地を歩き、調査をしました。



▲呉工業高等専門学校の生徒からフィールドワークに向けて説明を受ける



▲九九の「上達」聞いてください



▲新設された体育館は、壇上の奥に地域の風景が広がる



▲1年生から9年生まで並ぶ下駄箱



▲前期・後期課程の生徒が同じ校舎に



▲災害時に危険な場所をチェック



学校と地域の理想的な関係を伺います。

お互いに理解し合う関係を構築していくことが望ましいと考えます。これから未来はどんな社会となるのか、未来社会では、どのような資質・能力を身に付けた人材が求められるのか、これからの時代を担う子供達のために、学校と地域が、それぞれどんな役割で、何を果たしていくか、試行錯誤しながらも知恵を出し合いながら、前に進んでいくことが、理想的な関係づくりに繋がると考えます。



天応学園 坂口 守 校長



決算特別委員会（9月17日～9月24日）

決算特別委員会は、市の前年度決算を審査するために設置される特別委員会です。委員会では、不登校児童の居場所作りについてや、デジタル化推進事業、起業家支援事業の他に学校施設の空調整備など、多岐にわたる事業や費目について質疑が行われました。今回は、その内容の一部を紹介します。

■ 決算審査 Q&A

TOPICS 1

ふるさと納税の寄付金について



▲呉市のふるさと納税返礼品(写真はイメージです)

Q 呉市への令和5年度ふるさと納税寄附額は、約7億7,700万円で県内2位とのことですが、ふるさと納税の実質収支について教えてください。

A 寄附総額から、返礼品の代金・送料や委託料・手数料などの経費と市外に寄附された方の市民税の控除額を引き去り、この控除額に対する交付税措置額を加えた令和5年度の実質収支は、約3億円となっています。令和4年度の約5,000万円から大きく黒字幅を伸ばすことができました。

要因としては、委託先の中間事業者を変更したことにより寄附額が増加したことや、特定の行政目的での利用希望により頂いた寄附などが約1億円余りあったことが挙げられます。

Q 呉市民のふるさと納税の利用者数を教えてください。

A 令和3年が8,256人、令和4年が1万141人、令和5年が1万1,634人となっており、毎年約1,000人ずつ増加しています。国民全体では、6人に一人の割合で利用されていますが、呉市では、8人に一人が利用しています。

TOPICS 2

安芸灘大橋有料道路の利用促進について



▲安芸灘大橋

Q 安芸灘大橋建設時の借り入れは、通行料金で賄うこととされています。完済の見込みについて教えてください。

A 令和5年度末の未償還額は、約32億1,000万円ほどとなっています。

完済の見通しとして、通行料金の徴収期間は令和12年1月までを予定しており、償還は確実に進んでいると広島県から伺っています。

呉市としても、引き続き、広島県などの関係機関と連携し、安芸灘大橋の利用促進に努めます。

Q 地域振興のための事業に使える地域振興基金が40億円ありますが、この基金を安芸灘大橋通行の助成などに使うことはできないのですか。

A 合併特例債を活用している部分が多く、令和6年度までは合併建設計画の縛りがありますが、令和7年度以降についてはその縛りが外れるため、慎重に活用方法を検討してまいります。

■ コミュニティ・スクール

「地域とともにある学校」を目指して

開校前から「学校づくりワークショップ」や「天応地区義務教育学校開校準備委員会」を通して、学校、保護者、地域が開校準備段階の課題解決に知恵を出し合う取組が行われてきました。

この地域との関わりは、令和5年4月の開校後も「コミュニティ・スクール」に引き継がれ、地域でどのような子供を育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを地域の住民や保護者と共有し地域が一体となって子供たちを育む取組がスタートしました。



▲新しい体育館棟をご案内



▲地域の方との「生き方座談会」



取材を終えて

呉市初の義務教育学校の取組として、呉市立天応学園のこどもたち、呉工業高等専門学校、地域のボランティア団体の方々取材しました。災害復興のシンボルとして、地元に着した学校づくりを行っていることが分かりました。



さだもり 定森広報委員長

復興のシンボルとして学校と地域が一体となり、こどもたちの成長を支える熱い気持ちを感じました。いわゆる小、中のこどもたちが同じ校内で声をかけあう姿は微笑ましかったです。“こどもが主役”の教育を支えています。



かめい 亀井広報委員



▲地域の方から災害当時のお話を伺います

学校と地域がそれぞれの意見を出し合い、地域の歴史を学ぶ活動や、お茶の間サロンでの高齢者とのふれ合い、防災やまちづくりについての呉工業高等専門学校との協働学習など、様々な取組を実施しています。

子供たちがみんなを引き寄せ、地域の声を聞き、力を借りながら、地域とともに活動する学びが豊かになってきました。

■ 過去の会議録より

議会はココが気になった!!



Q コミュニティ・スクールを導入するとどのようなメリットが想定されますか。

A 子供にとっては、学びや体験活動が充実するだけでなく、地域の担い手としての自覚が高まります。教職員にとっては、地域人材を活用した教育活動を充実させることができます。保護者にとっては、学校や地域に対する理解が深まり、地域の中で子供たちが育てられるという安心感につながります。地域の人々にとっては、経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながると考えております。

Q コミュニティ・スクールの導入により教職員の負担が増えませんか。

A 軌道に乗るまでは、組織づくりや協議会の開催の準備、保護者や地域の方への説明等が必要ですが、学校・家庭・地域が目標やビジョンを共有し役割分担することで教職員の負担は解消されと考えています。

【令和4年9月13日 文教企業委員会】

■ 令和5年度決算を認定 令和5年度呉市一般会計決算認定案 ほか20件

14人の委員で構成する決算特別委員会（委員長 井手畑 隆政 議員）で議案審査を行いました。その後、本会議において、全ての議案を賛成多数により認定しました。

● 一般会計

歳入総額	歳出総額
1,121億7,600万円	1,080億800万円

● 特別会計

歳入総額	歳出総額
548億1,100万円	544億4,800万円

● 企業会計（収益的収支の状況、税込み）

	収 益	費 用
病院事業	8億1,700万円	7億5,300万円
水道事業	60億9,400万円	61億3,000万円
工業用水道事業	9億6,400万円	36億400万円
下水道事業	73億6,700万円	71億3,800万円

(100万円未満切り捨て)



幹事長 坂井 昌行

「こどもまんなか」の実現に向け確実な投資を

- ① 子どもたちの人権を守り、子ども・若者の意見が継続的に政策に反映される仕組みを構築すること。
- ② 児童生徒と市民の命を守る対策として学校体育館（災害時に避難所となる）への空調設備設置を推進すること。
- ③ 若者が未来へ希望を持てるよう、市独自の奨学金返済を補助する事業を導入すること。
- ④ 市民レベルでの核廃絶への機運を高めるべく、明年のパグウォッシュ会議へ関わりを持つ取組を行うこと。

名簿 坂井 昌行 / 檜垣 美良 / 亀井 聡美 / 上村 臣男

市民フォーラム



幹事長 山本 良二

激変する社会情勢に対応できる施策の強化を

- ① 若年層の市外流出をくい止めるために、雇用創出に繋がる企業誘致等に全庁を挙げて取り組むこと。
- ② 低利用、未利用の市有地について呉市が主体的に判断し、有効かつ具体的な土地活用方針を早急に示すこと。
- ③ 異常気象が常態化、災害のリスクが高まっている。土木関係の予算増を図り、災害対策を強化すること。
- ④ 市職員がやりがいの持てる労働環境の整備等に取り組み、組織力を強化し、市民サービスの向上を図ること。

名簿 山本 良二 / 光宗 等 / 中原 明夫

議会TOPICS

こどもまんなか

こどもまんなか応援サポーターに呉市議会が就任しました！

こども家庭庁の提唱する、こどもたちのために何がもっともよいことかを常に考え、こどもたちが健やかで幸せに成長できる社会を実現するという「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、自らが行動・発信する「こどもまんなか応援サポーター」に、呉市議会として就任しました。

こどもや子育て中の方々が気兼ねなく制度やサービスを利用できるよう、地域社会、企業など様々な場で、すべての人がこどもや子育て中の方々を応援する、社会全体の意識改革を後押ししていきます。



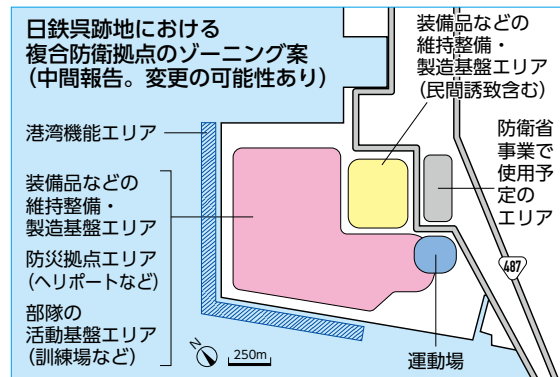
▲呉市議会でこどもまんなか社会の実現を後押し

議会協議会

防衛省による多機能複合防衛拠点配置案の中間報告がありました。

9月6日（金）に防衛省から、日鉄呉地区跡地への多機能複合防衛拠点の整備について、拠点内の施設や機能の配置案にかかる中間報告がありました。

施設配置等の基本検討や地形等の測量に必要な経費として、令和7年度予算に約5億円を計上している旨の報告があり、民間企業の誘致を含む装備品などの維持整備・製造基盤のほか、海側の埋立て地には、ヘリポートなどの防災拠点や、部隊の活動基盤、市民に開かれた運動場を配置するとの案が示されました。



▲防衛省のゾーニング案



映像はこちら！



9月17日から9月24日に行われた決算特別委員会で、予算目的に沿った効率的・効果的な予算執行がされたのかどうかなどの審査がされました。審査の中で見えてきた問題点や課題に基づき、各会派から次年度の予算に反映すべき提案が行われました。主な提言の内容をご紹介します。



映像はこちら！

誠志会



幹事長 小田 晃士朗

明るい未来を切り拓きさらなる成長を

- ① 「子育て都市呉」というブランドを確立するため、教育環境の充実、こども中心の政策を推進すること。
- ② 産業転換を含む企業等の誘致や誰もがチャレンジできる環境整備を進め、呉の経済発展を図ること。
- ③ デジタル化と行財政改革により、市民の生活の質を高め、持続可能なまちづくり基盤を整備すること。
- ④ 各市域のＪＲ駅をしっかりと拠点化し、誰もが快適でスムーズに移動できるような交通網を形成すること。

名簿 小田 晃士朗 / 福永 高美 / 橋口 昌 / 定森 健次朗 / 岡崎 源太郎 / 坂井 誠臣
横地 祐子 / 藤本 哲智 / 中田 光政

同志会



幹事長 林田 浩秋

呉の将来を見据えた財政運営と政策推進を

- ① 大型事業が今後も見込まれることから、引き続き将来を見据えた計画的な財政運営と財政健全化に努めること。
- ② 呉市の強靱化、防災DXの推進、災害ごみ対策、対策基金創設など、災害に強いまちづくりに一層取り組むこと。
- ③ 広・阿賀地区における子供・若者・子育て世代に魅力的なまちづくりや旧町地域の活性化に取り組むこと。
- ④ 「こどもまんなか」に向けて、引き続き子育て支援やこども施策の充実とその総合的な推進に取り組むこと。

名簿 林田 浩秋 / 梶山 政孝 / 渡辺 一照 / 田中 みわ子 / 河原 初海 / 佐伯 航一郎
片岡 慶行

創友会



幹事長 北川 一清

持続可能な未来への道を切り開く道筋を

- ① 合併20年が終了し、確たる地域振興計画を進めるに当たり、職員配置と地域振興基金の活用 に配慮した事業を行うこと。
- ② 観光振興は街づくりの根幹であり、清潔で安心安全な公衆トイレを数多く設置し維持管理も含めた予算化を行うこと。
- ③ こどもまんなか社会の実現に向けて子供達の声を聞き真に求められる施策を横断的に実現できる仕組みを構築すること。
- ④ 学校教育では個々の能力や個性資質を大切にし、多様化社会を生き抜く力と国際感覚を養う教育の推進を図ること。

名簿 北川 一清 / 岩原 昇 / 加藤 忠二 / 井手畑 隆政 / 沖田 範彦

議会TOPICS

総合交通対策特別委員会 令和6年8月23日（金）

呉駅周辺地域の総合開発が進んでいます！

呉市が平成30年5月より取り組んできた呉駅周辺の総合開発について、進捗状況の報告が行われました。

呉市の事業として、一般車送迎場と複合建物内に「アーバンデザインセンター」と子育て支援センター「くれくれ・ば」が整備される予定が示されました。

また、国の事業である交通ターミナルの整備や民間の事業である複合施設や住宅の整備内容も示され、呉市と国と民間が協力して呉駅周辺の整備に取り組むと説明されました。

2階デッキ ～にぎわいの創出～

交通ターミナルの上階に複合施設2階から続くデッキが整備されます。車両昇降スロープが設置されるため、キッチンカーなどの車両の乗り入れが可能で、イベント開催に適した空間となります。

また、災害時には緊急車両などが乗り入れできるほか、複合施設側のトイレ開放や電源コンセントの無償提供などの連携協定も検討中です。

議会はココが気になった

- Q 商業施設のテナントは1年前に決定すると説明されたが、そのときに公表できますか。
- A 実施事業者くれみらいには、市民・来訪者に喜ばれるテナントの組み合わせをぎりぎりまで追求していただきたいという状況です。テナント契約の際には議会に詳細を報告します。
- Q 交通ターミナルの整備にあたり、新たなバス路線を誘致するのですか。
- A 呉市としても、新たな都市間バスの誘致に取り組むと考えています。



映像はこちら！

9月定例会



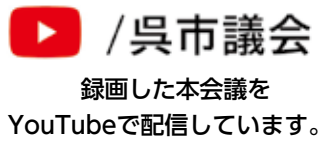
▲マイナンバーカードが保険証に



▲観光客に人気の呉湾艦船めぐりの様子



▲呉ポートピアパーク内の整備予定地



議案審議

Pick Up 01 〈議第99・100・103号〉
呉市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について 他2件

令和6年12月2日から 現行の保険証は発行されなくなります

国の法律が改正され、令和6年12月2日以降、現行の保険証は発行されなくなり、病院での資格の確認をマイナ保険証または資格確認書で行うことになります。

Q 令和6年12月2日以降も今の保険証は使えますか。

A 経過措置により、お手元の保険証に記載の「有効期限」まではお使いいただけます。それ以降は、マイナ保険証の登録のない方には、当分の間、申請によらず「資格確認書」が送付されます。

Q マイナ保険証で受診しない場合、何かペナルティはありますか。

A ペナルティはありません。マイナ保険証で受診した場合、現時点では、医療費が全体で20円安くなります。



委員会資料はこちら

Pick Up 02 〈106号〉
令和6年度呉市一般会計補正予算 観光推進体制整備事業

新たな観光推進体制の中核組織が始動

令和7年4月に呉市の観光事業の旗振り役を担う一般社団法人が始動します。観光客の動向や消費傾向などを調査・分析し、戦略的な誘致・広報活動を行うことで地域の稼ぐ力を引き出し、地域内の経済循環を高めるなど、地域経営の視点に立った持続可能な観光地域づくりを推進していきます。

Q 補正予算に計上した670万円の内訳を教えてください。

A 中核組織のスタートに向けた準備の経費として、プロパー職員の採用試験に係る委託料を20万円、その人件費として260万円（令和7年2・3月の2か月3人分）、事務所の改修費用が250万円、家賃、光熱水費、什器、OA機器のリースなど140万円となっています。

Q 職員の体制を教えてください。

A プロパー職員3人、市からの派遣職員3人、観光案内業務を含むパート職員5人で考えています。



委員会資料はこちら

Pick Up 03 〈106号〉
令和6年度呉市一般会計補正予算 アーバンスポーツ施設整備事業

アーバンスポーツ施設を整備します！

アーバンスポーツを通じて市の活性化と子どもや若者のコミュニティ形成の場を創出するため、呉ポートピアパークにアーバンスポーツ施設を整備します。令和7年度の整備工事着手に向け、その実施設計費用を補正します。

呉の若者や子どもが集い交流し、体験することができる場となるよう、競技関係者のほか、ストリートカルチャーに関わる方々の意見を聞きながら事業を進めていきます。

Q 呉ポートピアパークの利用時間は9時から21時です。若者が集う時間帯とは異なるように思いますが、新しい施設の利用時間も同じですか。

A 今後の検討事項ではありますが、現時点では同じ利用時間で考えています。



委員会資料はこちら

インターネットでライブ中継・録画配信中！



本会議や委員会の傍聴ができます！

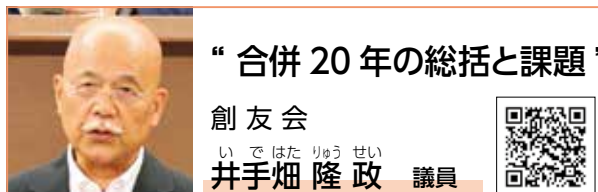


議会棟4階にて！
会議は通常、10時に開会します。



カタログポケット

スマホで読める「デジタルブック配信」！
呉市議会だより「Team Gikai KURE」は、年4回、2・5・8・11月に発行します。



議員：新生呉市は実現できたか

1市8町の大合併から20年が経過し、この間、急速な少子高齢化の進展など、当初は想定していなかった変化がありました。合併時に「合併建設計画」で描いた「新生呉市」が実現できたのかを伺います。

市：合併前に旧町と協議して策定した「合併建設計画」に基づき、合併後は、呉市の魅力を一層高める努力を行ってきました。合併建設計画事業のうち、令和5年度末時点で、旧呉市分の9事業はすべて完了し、合併特例債の発行額は約135億円です。合併8町分は計画した250事業中の163事業が完了し、発行額は地域振興基金造成分38億円を含む約122億円です。そして、新呉市分として追加した11事業は8事業が完了し、発行額は約274億円です。

合併から20年を迎え、合併特例債の活用期限となりますが、今後も有利な財源を活用し、地域特性を活かしながら地域の発展に必要な事業の実施に努めます。

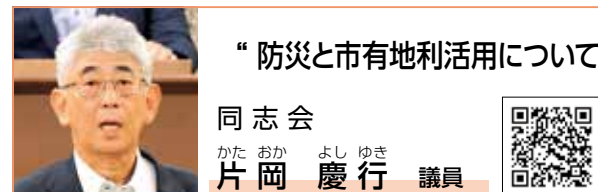
議員：倉橋町の桂浜周辺整備事業は

松枯れが進む桂浜は、合併建設計画にある桂浜周辺整備事業の松林の保全が十分に行われなかった結果ではないですか。

市：桂浜の整備事業は、松林の保全を中心に桂浜一帯の整備を実施しました。合併建設計画での事業は完了していますが、引き続き地元とも連携し有利な財源を活用して必要な取組を進めます。



▲桂浜の枯れた松の撤去



議員：災害に強いまちづくりを

災害から市民を守るためには、計画的に呉市の強靱化を進めていく必要があると考えますが、ご所見を伺います。

市：呉市ではこれまで国土強靱化地域計画に基づき、ハード面では耐震化の推進や災害に強いインフラ整備を進めると共に、ソフト面では避難体制の構築、防災教育の充実、自主防災組織の充実強化に向けた取組などを進めてきました。

今後「デジタル等新技術の活用による国土強靱化施策の高度化」や「地域における防災力の一層の強化」といった国の新たな方針を踏まえながら、引き続き取組を計画的かつ着実に進め、災害に屈しない強靱なまち呉を実現していきます。

議員：速やかな市有地の利活用を

呉駅南3街区、旧消防局跡地及び旧五番町小学校跡地について、今後の利活用方針を伺います。

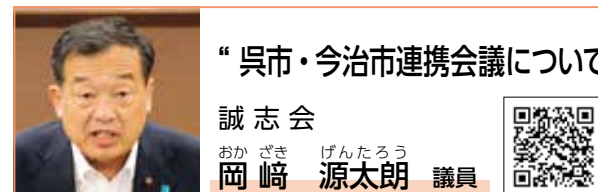
市：呉駅南3街区は現在公募型プロポーザルを実施中です。今後、選定された事業者と事業用定期借地に係る手続きを進めていきます。

旧消防局跡地は新たなサウンディング型市場調査を実施しており、調査方法の見直しにより、より多くの事業者からのニーズやアイデアを聴取し、年度内の契約締結に努めます。

旧五番町小学校跡地は呉市の活性化と賑わいづくりのため、立地条件を最大限に生かした有効活用に向けて取り組んでいます。



▲サウンディング中の旧消防局



議員：今治市との連携

今治市との交流が盛んになれば両市は発展します。このような中、令和6年5月に呉市と今治市の連携会議が行われましたが、成果について伺います。

市：今治市とはこれまでも、事務の効率化などにおいて連携してきました。5月の会議では、更なる連携強化のため、新たに、「サイクリングを活用した連携」、「観光分野における連携」、「地域おこし協力隊員の交流」、「首都圏での移住フェアの合同開催」の4つについて協議し、今後、検討を進めていくこととしました。

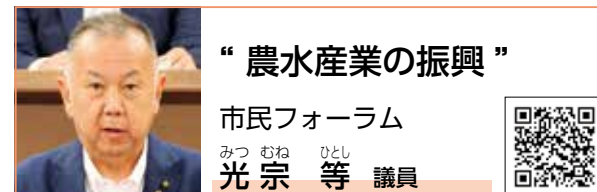
議員：広域周遊ルートの形成

「サイクリングを活用した連携」についてですが、今治市と協力して、呉市と今治市を結ぶ安芸灘とびしま海道、今治市から尾道市を結ぶ瀬戸内しまなみ海道、尾道市と呉市を結ぶさざなみ海道を一周するサイクリングルートの広報をしてはどうですか。

市：今年度実施するサイクリストの動向ニーズ調査の結果を活用し、今治市や県内関係市町との連携を図り、各地の観光スポットやグルメを楽しんでいただくとともに、宿泊していただけるよう、周遊促進と滞在時間の延長に向けた視点で、安芸灘とびしま海道と瀬戸内しまなみ海道、さざなみ海道を含めた3つのルートを効果的に繋げていきたいと考えています。



▲サイクリングを活用した観光振興を



議員：酷暑がもたらす影響

8月に入り、米がスーパーや小売店の店頭から消え、マスコミ等では「令和の米騒動」という表現も使われています。米不足の理由の一つに、猛暑や水不足といった環境変化があると聞き及んでいます。農業ではカメムシや蛾などの害虫が、また、県東部における水産業ではクラゲが大量発生するなど、呉市やその周辺でも大きな変化が出始めています。1次産業は市民生活の根幹であり、大いに危機感を抱いています。このような状況に対する市の認識と現在の取組、今後の方向性について伺います。

市：日本の各所で連日の猛暑や干ばつ、豪雨、海水温の上昇といった環境の変化で、市民生活のみならず産業全般に影響を与えています。農水産業ではその影響が大きく、野菜や果物の生育不良、これまでにない害虫の異常発生、魚の種類の変化、不漁、カキの実入り時期の遅れなどの影響が出ています。

本市は環境変化に対応するため、農業では米の高温耐性品種への普及指導やスマート農業等推進事業としての設備導入支援を行っています。水産業では豊かな海の再生に向けて、放流水に含まれる窒素リンの濃度を高め、海に栄養を届ける実証実験を広島大学と連携して実施したところです。今後も現場ニーズに即した農水産業の振興を図っていきます。



▲酷暑は呉産カキの実入りに影響



代表質問

9月2日・3日の2日間にわたり、代表質問を行いました。



カタログポケット

スマホで読める！デジタルブック配信！
呉市議会だより「Team Gikai KURE」は、年4回、2・5・8・11月に発行します。



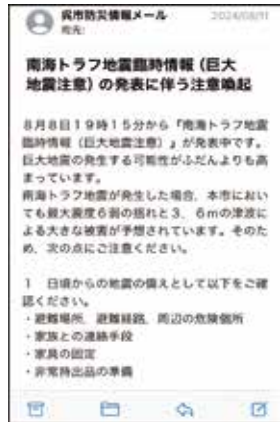
“南海トラフ地震臨時情報”

やま がみ ふみ え
山 上 文 恵 議員



議員：南海トラフ地震臨時情報についてを伺います。

市：南海トラフ地震臨時情報には、「調査中」「調査終了」「巨大地震警戒」「巨大地震注意」の区分があり、巨大地震警戒は、発表後2週間は、日頃からの地震への備えや地震が発生したらすぐに避難できる準備を、加えて、最初の1週間は、避難が間に合わない可能性のある住民は事前避難することを推奨しています。巨大地震注意は、発表後1週間は日頃からの地震への備えや地震が発生したらすぐに避難できる準備を推奨しています。



▲巨大地震注意のお知らせ

“災害級の猛暑への対応について”

いん きょ ゆたか
院 去 裕 議員



議員：猛暑は新常態になりつつあり、災害と認識できる現象です。熱中症予防に対する普及啓発と対策について伺います。

市：熱中症特別警戒アラート発表の際は、速やかに市民に周知するため、施設を所管する課から各施設に連絡したり、防災無線での放送やホームページ、SNSなどで注意喚起を行う体制を整えています。

また、自治会連合会などの会議で熱中症予防の情報提供や高齢者等への声かけのお願いや、各地区の健康教室においてチラシを配布するなどの啓発を行っています。



▲熱中症に注意

“国民保護訓練について”

さだ もり けんじろう
定 森 健次朗 議員



議員：呉市の国民保護の訓練状況について、お聞きします。

市：呉市では、平成19年度に県と共同の化学剤散布事案を想定した図上訓練を実施して以降、災害やコロナ禍の影響で国民保護訓練を実施できていません。そのため、広島県の令和7年度国民保護共同訓練の実施意向調査において、県との共同訓練に向け協議したいと回答しています。今後、他自治体の先進事例を研究するとともに、関係機関と緊密な調整を行い、令和7年度に効果的な訓練を実現したいと考えております。



▲訓練の様子

“カタカナ語の使用について”

おき た のり ひこ
沖 田 範彦 議員



議員：呉市市政だよりの表紙に「インクルーシブスポーツ」と書かれています。また、「ウォーカブルなまちづくり」などのカタカナ語が多用され、10人程の市民に「この意味がわかりますか」と聞くと、全員が「わかりません」と言いました。なぜ理解できない言葉を使用するのですか。

市：「インクルーシブ」の言葉の意味は「包み込む」です。国や県などで使われ始めている言葉ですが、広く浸透した言葉ではないと認識しています。特集記事の前段で用語解説を加え、普及にも努めています。



▲伝わりやすい言葉を

“学校給食のあり方について”

さか い まさ おみ
坂 井 誠臣 議員



議員：近年、牛乳の摂取が必ずしもカルシウム摂取に有効とは言えない時代となり、また、アレルギーや動物性食品を避ける食生活を選ぶ家庭も増えています。そのため、牛乳の選択制を検討していただきたいと思いますが、導入の可否について伺います。

市：牛乳は、学校給食摂取基準に沿って、バランスよく効率的に栄養を摂るために欠かすことのできない食材です。呉市は学校教育法施行規則に定める、牛乳を含んだ「完全給食」を実施しており、牛乳の選択制の導入は考えていません。



▲栄養満点の給食を

“スポーツ大会や合宿誘致”

お だ こうしろう
小 田 晃士朗 議員



議員：経済的効果や交流人口増の考え方の中で、スポーツ大会や合宿誘致などがあげられます。スポーツ施設の再配置の考え方にも大きな役割を果たすと考えますが、市の考え方をお聞きします。

市：市外からの誘客が図れるスポーツ大会や学生等による合宿につきましては、大きな経済的効果と交流人口の増加が期待できるものと考えています。効果的な競技施設の整備等を通じて、スポーツ環境の整備・充実に努め、積極的にスポーツ大会の誘致や合宿の受入れを行っていきたいと考えています。



▲効果的な競技施設を



個人質問

9月4日に個人質問を行いました。



“平和と安心のまち“くれ”へ”

公明党呉市議会議員団
かめ い さと み
亀 井 聡美 議員



議員：戦後80年にむけた平和への取組

明年、終戦から80年を迎えます。呉市には広島平和記念資料館同様に大和ミュージアムがあり、世界に向けた平和の発信拠点として、平和の尊さを世界に発信する使命があると思います。市の平和への取組を伺います。

市：昭和25年に平和産業港湾都市への再生を目指す旧軍港市転換法が制定され、市では旧軍港市転換計画を策定しました。長期総合計画策定以降は、この計画に基づき、平和産業港湾都市のまちづくりを行っています。また昭和60年には核兵器廃絶・平和都市を宣言し、再び広島、長崎の惨禍を繰り返してはならないとの認識のもと、引き続き戦争や核兵器のない平和な世界の実現に向け、努めていきます。



▲平成17年に開催した大和ミュージアムの企画展

議員：子どもを守る性教育を

学校教育での性教育の推進とともに、家庭での性教育は重要と考えます。早い時期から年齢に応じた性教育が重要という意見もあります。3歳児健診等で年齢に合わせた絵本をプレゼントし、家庭での性教育のきっかけづくりを行ってはいかがですか。

市：性教育も含め様々な悩みを抱えている保護者や幼児に対し、必要に応じて訪問や個別相談を行っています。文部科学省の「生命（いのち）の安全教育」で作成されている幼児期の教材などを利用した啓発や情報提供について研究していきます。

議会報告会

「みんな教えてクレ～議会意見交換会」

各常任委員会と政策研究会が市内の高校や地域の団体を訪問し、意見交換を行いました。

今年度は、呉市内の高校9校及び3つの地域の団体で意見交換会を開催する予定です。本号では、10月に開催した川尻町西部4地区自治会、清水ヶ丘高校、呉青山高校の開催の様子や意見交換の内容を紹介します。



10/2 川尻町西部4地区自治会 × 総務委員会

川尻地区の自治会からは、急傾斜地対策などの災害対策について、行政の対応と、日頃から住民として心がけておくことについて、質問がありました。

行政の公助も重要ですが、災害時の異変や危険箇所にはいち早く気がつくのは地元の方なので、気づいたことがあれば行政に逐一報告いただくなど地元の協力が重要になってくるといった意見が交わされました。

Q 東広島市から通学していますが、交通機関が少ないので、呉市と東広島市間の交通機関をもっと増やしてほしいです。

A バスなど交通機関の増便のためには新たな乗務員の確保が必要ですが、日本全体の課題として、バスの乗務員のなり手が不足しているのが現状です。

加えて、令和6年度から乗務員の働き方改革の推進のため、業務と業務の間のインターバルを11時間空ける必要があるよう基準が見直され、ますますバス運転手の人員不足に拍車がかかっています。

すぐに解決する問題ではありませんが、収益率のよい業界ではないので、行政から支援を行うなどの対策を考える必要があります。

Q 呉市でも路上喫煙をよく見かけます。路上喫煙の禁止に関しては、罰則なしの努力義務となっています。呉市には高齢者が多く、受動喫煙による健康被害をなくすため、灰皿ではなく煙が漏れない喫煙ボックスを設置するなどの対策が有効ではないでしょうか。

A ご提案のように喫煙ボックスを設置し、喫煙する方と、そうでない方の棲み分けをしっかりと行うことは有効であると考えています。

喫煙ボックスの設置には費用もかかりますが、たばこ税などの財源を有効活用するという方法もあります。

呉市では現在、呉駅前の開発やウォークラブルなまちなかの形成に向けて取り組んでいますので、この問題についても、しっかりと市と議論をしていきたいと思います。

10/16 清水ヶ丘高校 × 民生委員会



二列目左から 久田 智也さん、神田 陽飛さん、山本 竣介さん
寺田 光緒さん、安藤 夢空さん、植木 笑乃さん、舛田 弥琴さん

私も議員になりたいと思いました。議員の皆さんは呉市のために頑張っていて、政治にもっと興味を持ってました。選挙にも行きたいと思います。

10/22 呉青山高校 × 政策研究会



左から 安達 慧海さん、坂口 春陽さん、山本 直太郎さん

呉市政について今まであまり興味をもっていませんでした。私たちが普段の生活で抱いていた不満や改善してほしいことについて市の取組を教えていただき、普段から呉市の現状について考えていこうと思うようになりました。

議会TOPICS

インターン 本紙表紙に提案を採用！

8月19日から23日まで、3名の大学生が呉市議会にインターンシップでこられました。

職場体験を行うほか、若手議員との意見交換会では、進路の話や、議員になった理由など雑談形式で意見を交換し、「今までより議員さんを身近に感じることができた」との感想をいただきました。



▲若手議員との意見交換会

最終日には「学生が市議会に関心を持つために必要なことは」「議会だよりをもっと読んでもらうには」のテーマで、それぞれの考えを発表しました。

「若者の興味を引くように、議会だよりの表紙に大きくQRコードを掲載してはどうか」など参考になる提案を多数いただきました。



▲若者が議会に興味を持つには？

視察 広報委員会 読みたい広報紙を目指して

8月8日・9日に、日本地域情報コンテンツ大賞でMIE部門※の優秀賞を受賞された香川大学による学生プロジェクト Kitahama Lab（キタハマラボ）が制作する地域情報誌と、全国広報コンクールで総務大臣賞を受賞された愛媛県西条市の市政だよりの制作に関する取組を、広報委員が視察しました。

大学生による若者目線の紙面構成や、市民を主役にした広報紙の作成について、説明を聞き、意見交換を行いました。

今後の「チーム議会くれ」制作にあたっての参考にし、多くの世代が読みたいと思う広報紙を目指します。

※ MIE 部門：学生団体発行のフリーペーパーを対象とした部門



▲Kitahama Labの学生と

“不登校児童生徒への支援”

久保 東 議員



議員：市長は、令和5年度第1回総合教育会議で「一番大事なことはただ一つ、一人一人の児童生徒が、一人一人の意思を持った非常に大事な存在だということ」と発言しています。不登校児童生徒の居場所としてのSSR（スペシャル・サポート・ルーム）が設置されて救われる児童生徒は必ずいます。そして、保護者も幾ばくかの負担をおろせるのではないですか。

市：今後も、児童生徒の状況や学校の実態を把握し、SSRの設置も含め、不登校児童生徒への支援について検討をしていきます。



▲不登校児童生徒への適切な支援を

“日鉄跡地問題について”

奥田 和夫 議員



議員：日鉄跡地解体の工事標識が工場入口に掲示されていません。法の義務であり、市民に適正な分別解体工事を確かめてもらうためのものです。市民に知らせないのはなぜですか。

市：解体工事の工事標識は、施工業者が公衆の見やすい場所に掲示すると法規定されていますが、複数の解体工事が行われている日鉄跡地では、それぞれの解体現場付近に掲示され、一般の方が目にするのが難しい状況でした。このため、工事標識の移設を要請し、施工業者からは速やかに対応すると伺っています。



▲日鉄瀬戸内製鉄所呉地区入口



個人質問

9月4日に個人質問を行いました。

動画はこちら



“写真で伝える呉市の魅力”



両城小学校 6年生 **武藤 千夏** さん

■私の夢はフォトグラファーになることです。

きれいな風景の写真を撮ることが好きで、私のとった写真でみんなが笑顔になっているところを自分の目で見てみたいです。

呉市の代表的な観光スポットから、まだあまり知られていないところまで、呉市の魅力を写真で発信して、たくさんの人に呉市のよいところを知ってもらい、呉市を盛り上げていきたいです。

12月定例会の予定						
日	月	火	水	木	金	土
11/17	18 総務委員会	19 民生委員会	20 文教企業委員会	21 産業建設委員会	22 特別委員会	23
24	25 告示日	26	27	28	29	30
12/1	2 本会議	3 本会議	4 本会議	5 本会議	6 総務委員会	7
8	9 民生委員会	10 文教企業委員会	11 産業建設委員会	12 特別委員会	13 本会議	14
15	16 予備日	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

※予定は変更になる場合があります。

昌原特例市議会 呉市議会

大韓民国の昌原特例市議会が来呉し、呉市議会との議会交流に関する協約を締結しました。

昌原特例市議会の孫泰和議長ほか議員8名は10月20日に下蒲刈町において開催された第22回朝鮮通信使再現行列に参加しました。

ステージイベントでは、孫泰和議長と呉市議会中田光政議長が協約書に署名し記念品を交換しました。



▲行列参加の様子



▲協約締結式

編集後記

投票率の低さからも象徴されるように若年層の政治離れが近年課題となっています。

こうした情勢に対して、呉市議会だよりが若者にも手に取ってもらえることを考慮し、紙面のリニューアル等を実施してきました。

呉市議会だよりは、これまで中核市議会議長会議会報コンクールで最優秀賞を2回、優秀賞を1回受賞しています。

しかし、呉市民の皆様への認知度は、まだまだ不十分なものと認識しています。

この編集後記まで目を通して下さった読者の方は、知人・友人などに呉市議会だよりを広めて頂ければ幸いです。

広報委員会副委員長 **みつむね 光宗** 等